

# 学際情報科学研究部門 リサーチ・アシスタント (RA) 募集

## 1. 募集の内容

情報基盤センター 学際情報科学研究部門 山肩洋子教授での研究を推進するRAを1名募集する。

(担当教員：山肩洋子教授)

## 2. 募集対象

2026年4月1日現在、東京大学大学院博士後期課程(博士課程)に在籍する学生。

- リーディング大学院プログラム奨励金受給者、日本学術振興会特別研究員、国費留学生、これらと同等またはそれ以上の給与奨学金を受給される場合は応募できない。
- 休学中は、研究業務単価（月額）は支給されない。
- 研究の一層の推進を図る観点から、十分な研究遂行能力を持っていること、または持つと見込まれること。
- 研究に熱意を持って取り組む意欲があること。

## 3. 研究内容

山肩研究室では、日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）日本－シンガポール「AI」研究領域「東および東南アジアにおける動的かつ持続可能な食糧計画のための大規模言語・マルチモーダルモデルの開発」により、気候変動により動的に変化する食糧事情に対し、WEBを介して収集した食にまつわるあらゆるデータを解析することで、人々がリアルタイムに食の状況を把握する手助けをする大規模言語モデル（LLM）および大規模マルチモーダルモデル（LMM）の開発に取り組んでいる。RAとして採用されれば、LLMやLMMをはじめとする深層学習技術の新しいアーキテクチャの設計や、その実装および実験を主に担うことになる。研究は、高度なプログラミング能力に加えて、LMMやLMMに関する基礎的な知識も求められる。

## 4. 研究業務単価

月額150,000円支給

（研究業務単価（月額）は税法上「給与所得」の取扱いとなり、他に所得がある場合は額によって確定申告が必要になることがあります。また年間収入（1－12月）が103万円を超過すると被扶養者からはずれ、扶養者は扶養控除を受けられなくなります。また130万円を超えると健康保険料を払うことになります。博士課程研究協力制度などの他の所得も含めて、1－12月間の年間収入に注意してください。なお、この件に関しては扶養者の加入する保険制度により対応が異なるため、事務は個別の問い合わせには応じません。）

## 5. 委嘱期間

2026年4月1日から2027年3月31日まで

## 6. 応募書類、提出先

以下の内容を担当教員 yamakata(at)hal.t.u-tokyo.ac.jp までメールにて送ること。メールの件名は「RA応募（NEXUS2026）」とすること。応募に当たっては必ず指導教員の許可を得てください。

- 氏名
- 所属（研究科、専攻）
- 学年
- 連絡先（メールアドレス）
- 指導教員氏名・所属・メールアドレス
- 関連分野における実績、抱負（A4 1枚以内）
- リーディング大学院プログラム、日本学術振興会特別研究員、国費留学生、のいずれかに採用されていますか。（はい／いいえ）
- 本RAの他に、月額10万円を超えるRA（またはそれに類するプログラム）の受給や応募の予定がある場合は記述してください。

## 7. 応募書類提出期限

2026年1月14日（月）9:00

## 8. 委嘱者決定の時期と通知

委嘱者の決定及び通知は、2025年4月下旬に申請書記載のメールアドレスへ通知予定。

## 9. 研究報告

委嘱者は年度末に研究業務報告書を作成し、提出すること。書式、提出先、提出期限については後日連絡する。

## 10. 問い合わせ窓口

教授 山肩洋子（yamakata(at)hal.t.u-tokyo.ac.jp）

※(at)を@に置き換えること。